

収穫体験（餅つき）
「よいしょー。」と掛け声



▲中核農業者協議会と園児で力をあわせて餅つきをしました

12月13日、町内の若手農家らでつくる函南町中核農業者協議会により、町内の2幼稚園（春光・みのり）で収穫祭（餅つき）が行われました。

使用したお米は、農業委員の皆さんの指導のもと、田植え・稲刈り体験を行ったもち米で、同協議会の皆さんに教えてもらい「よいしょー。」と掛け声をし、餅つきを行いました。

園児からは「お餅つきを楽しみにしていた。つきたてのお餅って柔らかいね。」などの感想が聞かれました。

ついたお餅は正月に家で飾る鏡もちにしました。

正月に向けてミニ門松作り
わいわい塾冬休みスペシャル

12月17日、函南町文化センターで冬休み特別教室「わいわい塾冬休みスペシャル」が行われました。

わいわい塾では、毎年夏と冬に通年の教室に通っていない児童が参加できる教室を開催しています。今回の特別教室には71人の児童が参加し、ミニ門松づくりなどを体験しました。

参加した児童は協力してのこぎりで竹を切ったり、飾りつけを行ったりして、わからないことを講師に聞きながら夢中になってそれぞれの作品を完成させました。



▲ミニ門松の飾りつけを行う児童

親子で楽しく触れ合い
冬休みわくわくまつり



▲人形劇などを楽しむ来場者

12月18日、かなみ知恵の和館で「冬休みわくわくまつり」が行われました。

同イベントは、就学前から小学生までの親子を対象に「学んで」「遊んで」「体験して」「楽しんで」を目的に、人形劇や手遊び、読み聞かせ、クリスマスカード&リースを作ろうのイベントが行われ、約100人が参加しました。

出演した人形劇団ハリケーンは、人形劇「ねずみのゆうびん屋さん」のほかに、新聞紙を使った綱引きや縄跳び、音楽に合わせた体操・手遊びなどが行われ、親子などで一緒に楽しんでいました。

函南ブランド認定授与式
魅力を全国にPR



▲森町長（左）から認定証が手渡されました

11月22日、函南町役場で「第1回函南ブランド」の認定授与式が行われました。

「第1回函南ブランド」には、16事業所・個人、22品の応募があり、認定審査委員会が食味や審査基準の物語性、独自性、将来性などを基に12事業所・個人、17品を認定しました。

認定品は函南西瓜や丹那牛乳、トマトなどの農産物や関連加工品などで函南ブランドロゴマークのシールを貼るなどして普及を図っていきます。

認定品は各店舗で販売のほか、5月にオープンする道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」などで販売する予定です。

姉妹都市カーマン市での交流を報告
30周年を記念し訪問

11月24日、函南町役場で函南町の姉妹都市アメリカ・カリフォルニア州・カーマン市へ訪問（10月26日～11月2日の8日間）の帰国報告会が行われました。

昨年同市との都市交流30周年迎えたのを記念し、町長を団長とする15人の訪問団が、高校生との交流やハロウィーンイベントへの参加、また自然保護に理解を深めるため国立公園などを訪問しました。

帰国報告会では、ホストファミリーとの交流やカーマン市特産のアーモンド畑の視察の様子が発表され、新たな友好関係を築いてきたことが報告されました。



▲訪問団がカーマン市での滞在を振り返りました

静岡県畜産共進会
神尾さん最高位の名誉賞



▲名誉賞、最優秀賞受賞したことを森町長に報告しました

このほど長泉町で行われた第90回静岡県畜産共進会 乳牛の部で神尾亮太郎さんが出品した「ブロードウェイ・マタドーア・ダブジュラ」が最高位の名誉賞を受賞したことを森町長に報告しました。

同共進会には、県内各地区の予選を通過した乳牛が参加し、神尾さんの牛は容姿や乳房の形などが高い評価を受け、同賞を受賞したとのこと。

また、神尾さんを含めた函南町から出品した乳牛が4部門で最優秀賞を受賞しました。